



富士の謎が描かれた
江戸の風景



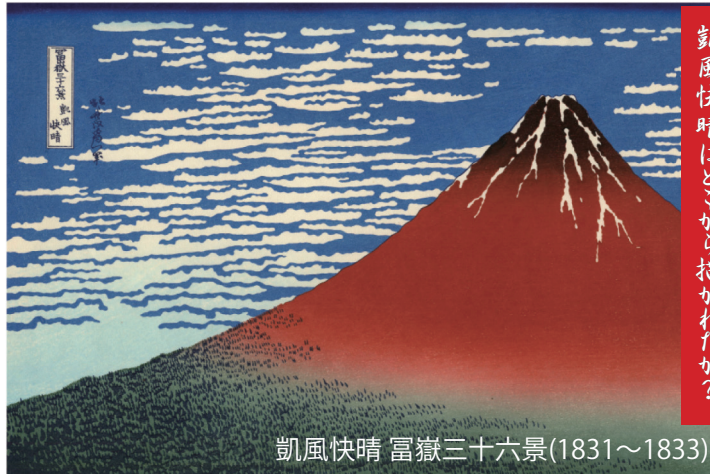
画狂老人記

江戸の謎を解く

<http://www.fujigoko.tv/>

葛飾北斎の富嶽三十六景の謎を解く

凱風快晴はどこから描かれたか？



凱風快晴 富嶽三十六景(1831~1833)

描いた場所の通説
三ツ峠周辺の初秋早朝の赤富士か？



富士吉田滝沢林道から赤富士



山梨県の絵柄ナンバープレートはこれ!

赤富士の名所は(特に初秋)山梨側だし下に樹海もあるし…
一般的に凱風快晴は山梨県側から描いたものとなっている。

でも、山梨側でこの雪形を見たことない？
しかも、太陽は右から当たっていないか？

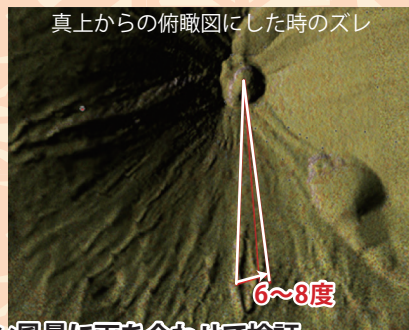
ある日、360度富士山周囲に仕掛けられたライブカメラの一つ、富士市大淵の映像を見ると凱風快晴と同じ雪形が…



2015年4月22日11時08分



富士山の沢と雪形を合わせた時のズレ



真上からの俯瞰図にした時のズレ

6~8度

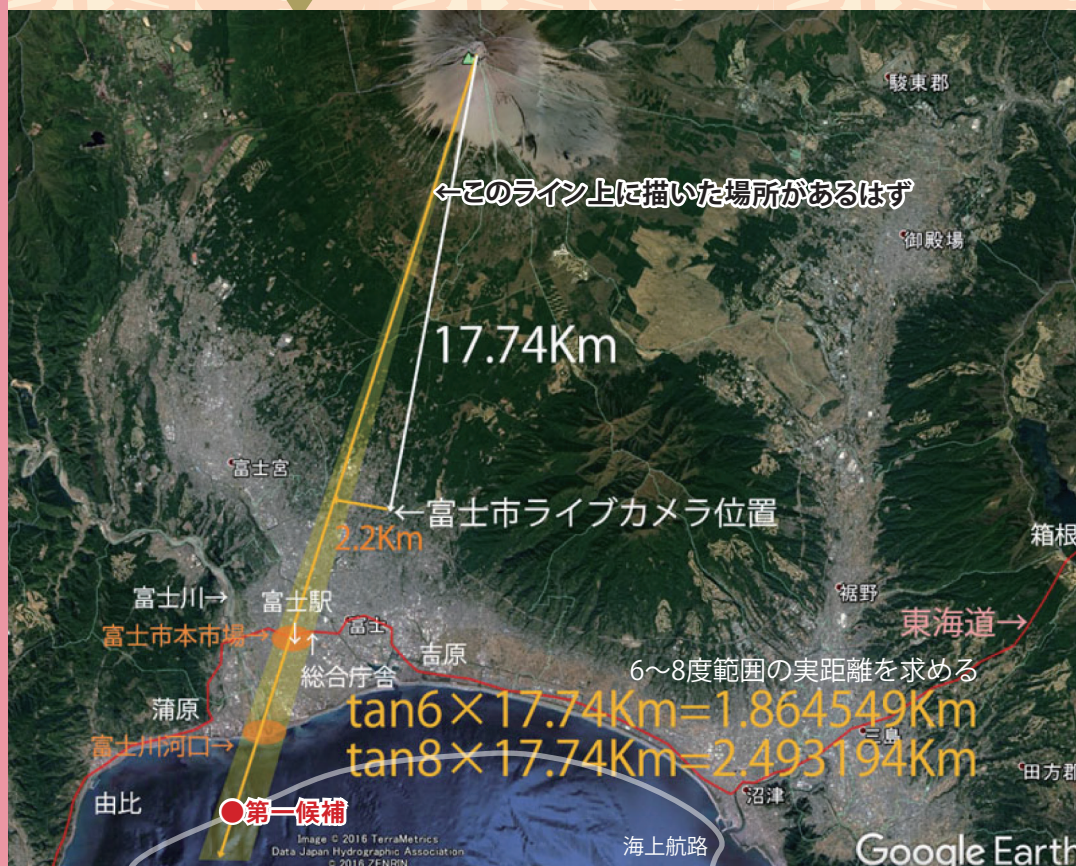
視点位置のシミュレーション風景に画を合わせて検証



(1)

ライブカメラの実際映像と凱風快晴の雪形の描かれた位置とのズレを把握しそれは6～8度の範囲であると特定できた。

画と雪形のズレから場所特定の作図



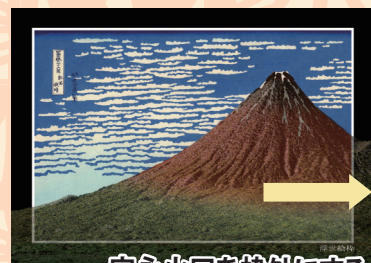
候補位置の3Dシミュレーションから凱風快晴を作図



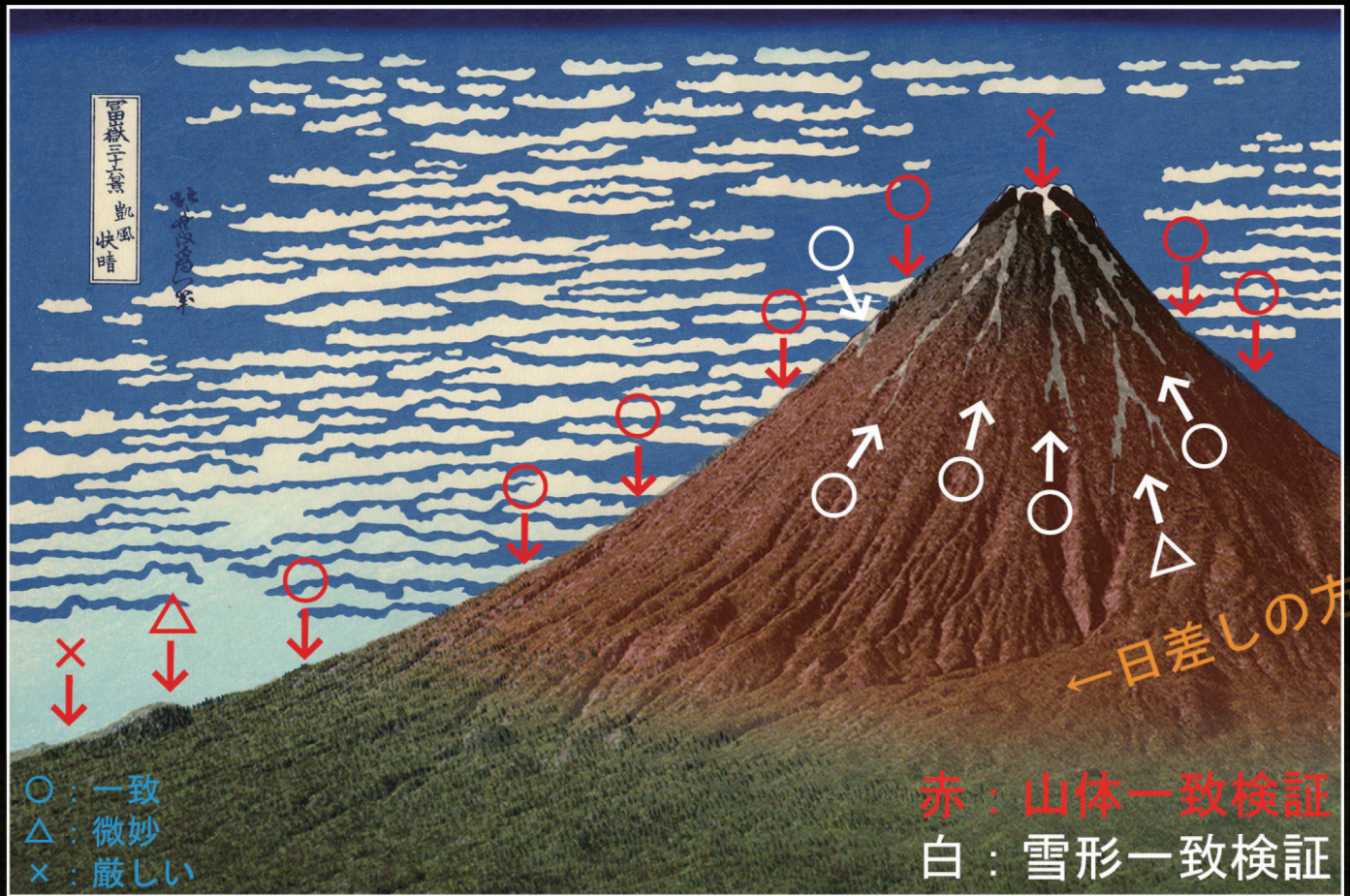
縦方向に1.6~1.8倍



右に4～6度傾ける



宝永火口を枠外にする



新説：富士川河口沖海上3Km地点の初夏(5月中旬早朝5時ごろ)

↑ 浮世絵枠

←山頂パーツの検証：須走方向から

35°06'13.05N - 138°38'47.76E

カシミールを用いた「凱風快晴」視点位置のスケッチ図

この説はNHK歴史秘話ヒストリア(2017年4月21日)放送済

NHK 2017.4.21

NHK同行取材時に撮影した座標位置の富士山

歌川広重の江尻(清水港)中央は三保の松原

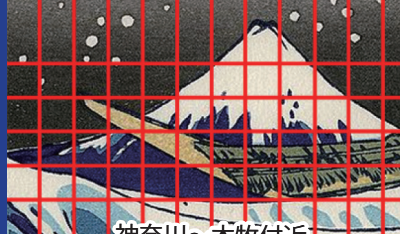
富士山の異常の形状が右下に隠れてしまい、地形の關係上、北斎の描いた通りにはならない

江戸時代には航路が良く開けていた

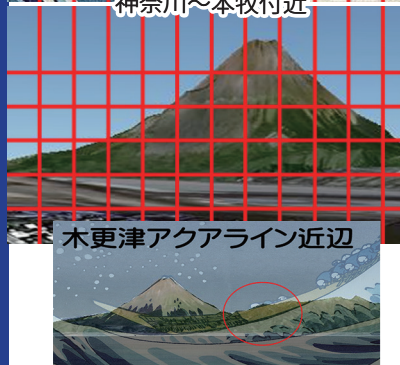
北斎は江尻航路の船上で凱風快晴をスケッチ
200年の謎は解けた!

長年謎だった凱風快晴は海上から見た富士山か?

富士五湖ドットTV
fujigoko.TV
<https://www.fujigoko.tv/>
他の北斎視点詳細はこちらから。
記：久保寛

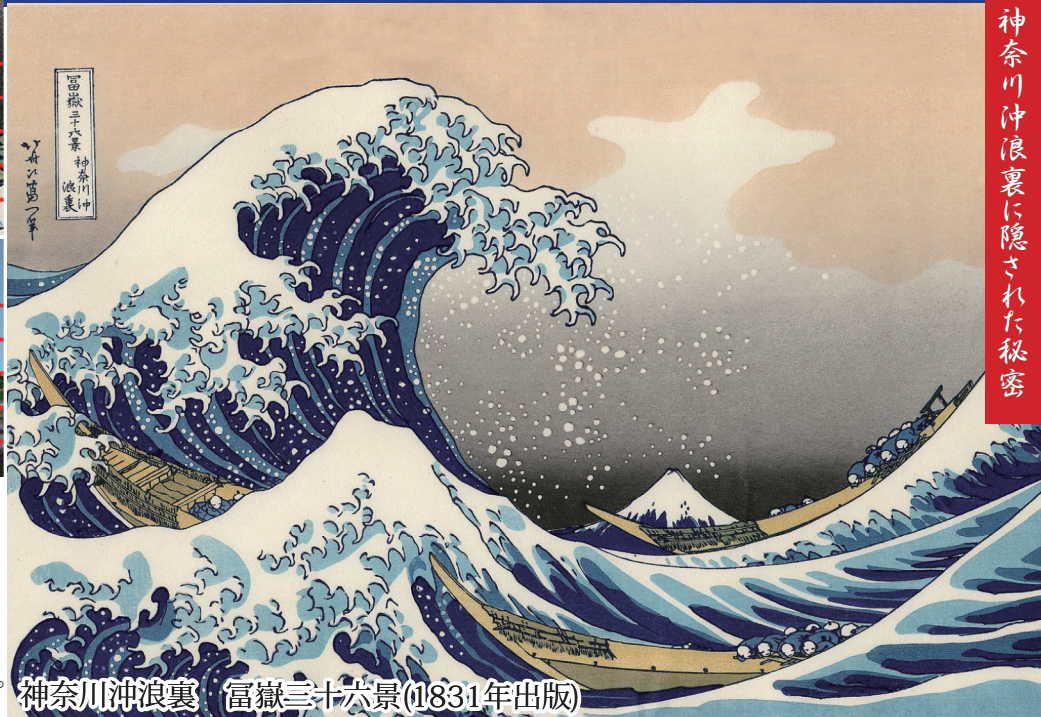


神奈川～本牧付近



木更津アクアライン近辺

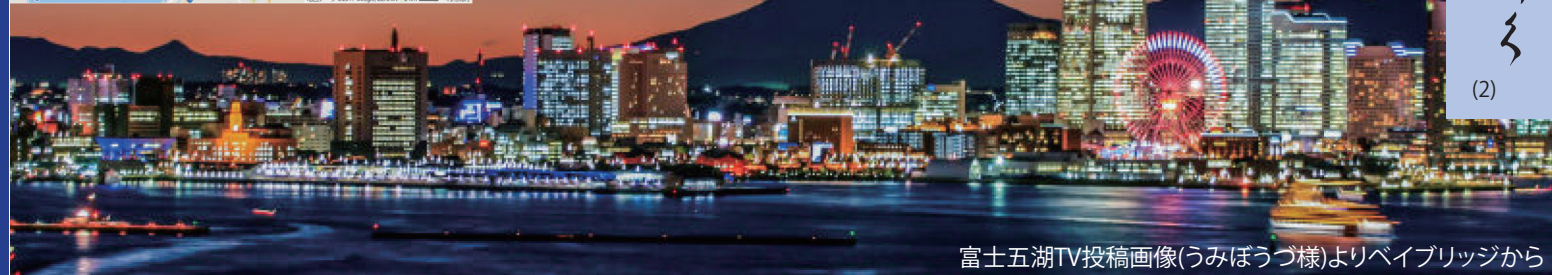
神奈川沖は現在の本牧。しかし、視点は木更津と本牧を結ぶ航路上で、木更津付近と推測できる。この説は概知です。



神奈川沖浪裏 富嶽三十六景(1831年出版)

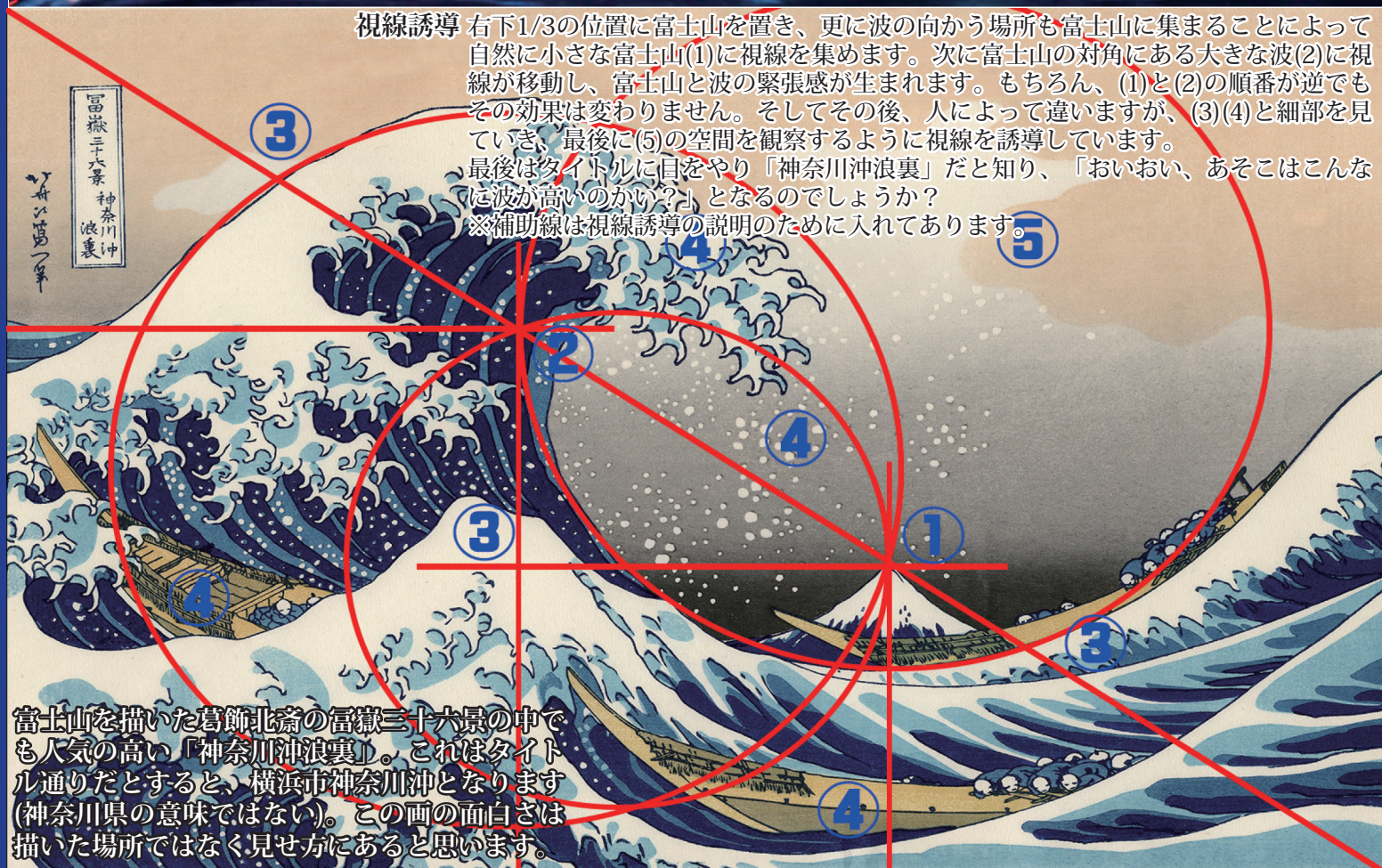


推定視点位置



富士五湖TV投稿画像(うみぼうづ様)よりベイブリッジから

視線誘導 右下1/3の位置に富士山を置き、更に波の向かう場所も富士山に集まることによって自然に小さな富士山(1)に視線を集めます。次に富士山の対角にある大きな波(2)に視線が移動し、富士山と波の緊張感が生まれます。もちろん、(1)と(2)の順番が逆でもその効果は変わりません。そしてその後、人によって違いますが、(3)(4)と細部を見ていき、最後に(5)の空間を観察するように視線を誘導しています。最後はタイトルに目をやり「神奈川沖浪裏」だと知り、「おいおい、あそこはこんなに波が高いのかい?」となるのでしょうか?
※補助線は視線誘導の説明のために入れてあります。



富士山を描いた葛飾北斎の富嶽三十六景の中でも人気の高い「神奈川沖浪裏」。これはタイトル通りだとすると、横浜市神奈川沖となります(神奈川県の意味ではない)。この画の面白さは描いた場所ではなく見せ方にあると思います。

北斎の波表現遍歴

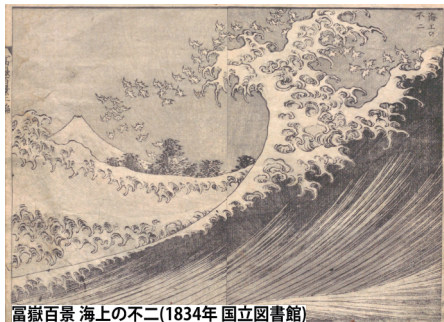
北斎は堀之内（東京杉並区）の日蓮宗妙法寺にある通称「波の伊八」の彫刻に触れていて、伊八に関心を抱いていた。ちなみに伊八の取り組んだ波の有名な彫は千葉県明王山飯縄寺40代半ばの作品、東頭山行元寺50代後半の作品）にあり、その原風景は千葉県房総の大東岬から見た波であると言われ、北斎も確認のためか南総の旅に出ています。このことから一説には「神奈川沖浪裏」の浪の部分は外房の波だと唱える人もいます。



賀奈川沖本奎之図(1803年 国立図書館)



おしおくりはどうつうせんのか(1805年 国立図書館)



富嶽百景 海上の不二(1834年 国立図書館)

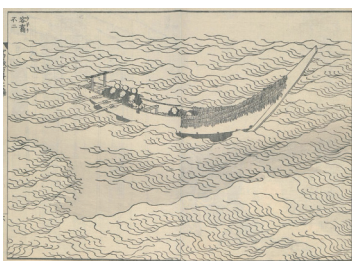
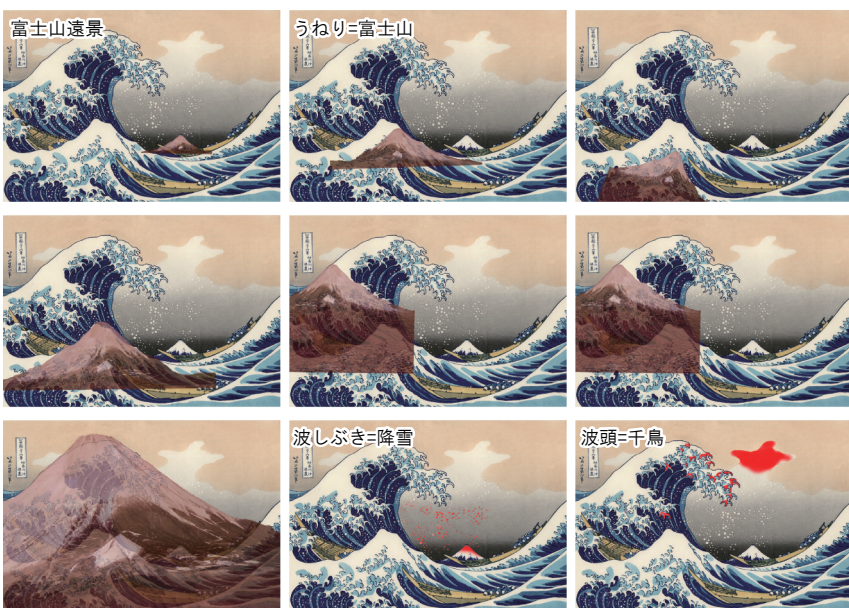


右画像は本堂欄間に伊八の彫がある飯縄寺。

波の表現に当時の人が互いに影響し合っている北斎は苦心の果て、波の伊八の波をカッコイイと考え採用し、おそらく彼も実際に荒ぶる波を見に行っているに違いない。何でもかんでも北斎の偉業にすることはかえって北斎に失礼であり本人には迷惑なことだ。

波頭のひとつひとつの表現は「シャッターの目」などというファンタジーではなく、日本の高度な漫画表現の一部だと認識するべきでしょう。

画に隠された富士山



北斎は富士山のシルエットを意図的に複数入れ込んでいます。それは、「凱風快晴」のスケッチを行った場所の富士山で右に宝永火口が張り出したばかりの形状をしています。

波の中に富士山を隠す構図は「富嶽百景二編 容斎不二(うねりふじ)左画」の中に見られます。またこの画には「神奈川沖浪裏」にある押送船もあります。

「神奈川沖浪裏」のポイント

1. 波が碎ける表現の漫画的手法とその追及
 2. 視線誘導を巧みに操った富士山中心の構図
 3. 富士山の相似形を隠したサブリミナル効果
 4. 船の相似形を配置したアニメーション効果
- 以上からダイナミックな動きを感じさせる



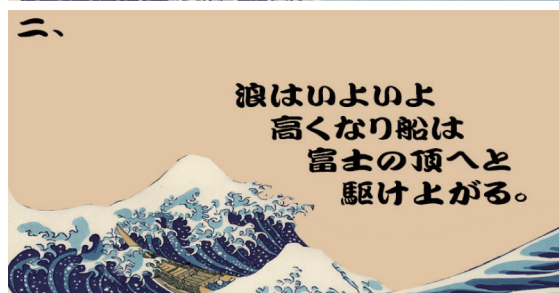
富士五湖ドットTV
fujigoko.TV

<https://www.fujigoko.tv/>

他の北斎視点詳細はこちらから。記:久保寛

新説… 神奈川沖浪裏を分解すると5コマのシーンからなるアニメに
NHK歴史探偵にて模型を使用した実験槽で再現してもらいました

描かれている三艘の船は実は一艘で時間経過を暗示している



最初に戻る

山下白雨はどの景色か？

山下白雨 富嶽三十六景(1831~1833)



山下白雨は葛飾北斎の富嶽三十六景の中で凱風快晴と同様にどこで描いたか意見が分かれる作品です。凱風快晴が赤富士と呼ばれるのに対し、山下白雨は黒富士と呼ばれ、白雨とは明空からのにわか雨(夕立)を想起させます。一般的な解釈として山頂の形状から、山梨側は御坂山塊、三ツ峠、新道峠の間、静岡側は富士宮市のどこかだろうと言われてきました。このように山頂に大きな特徴があるにもかかわらず、実際の風景とピッタリ一致した場所の特定が未だにできていませんでした。中には上空2,000mからの風景を想像して描いたというトンデモ説まで枚挙にいとまがありません。

POINT1: 山下白雨を時計回りに約25度傾ける。



山下白雨の富士山稜線には凹凸がたくさんあります。実はこの凹凸が重要で、完全に一致する場所が見つければ解決になるのですが今まで一致する場所は見つかりませんでした。

POINT2: 上画は柚野～芝川の山上の実際風景に良く一致する。



そのためこの凹凸は軽視され、なんとなく一致する程度で検証されてきた結果、従来の曖昧説の流布に繋がりました。しかし、上図のように基の画を傾けることで左の風景と一致することを発見しました。また検証のためライブカメラを設置し、雪形の一致も確認しました。

上画と実際風景を合成した画像。



実際の山中にてさらに詳細な場所を詰める。



取材で実際に訪問した山下白雨検証場所の空撮



甲州伊沢暁 富士三十六景(1831~1833)

甲州伊沢暁

2023年NHK総合の元日特別番組放送のため、山下白雨の描かれた場所を探す目的で下柚野地域山中に探査行しました。

探査・検証の結果、山下白雨の描かれた場所の特定はこれまた謎だった。甲州伊沢暁に描かれた富士山の場所特定にも繋がり、取材で訪れた場所は両版画のスケッチの正確な場所判定を互いに補強しました。



左側稜線の凹凸重ね合わせ

35°13'59.24N - 138°33'02.87E

カシミールを用いた「山下白雨」視点位置のスケッチ図

北斎はこの場所のスケッチを各所で使用します

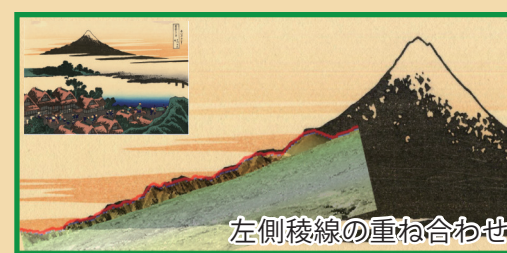
作者注: 左山並みの基は富士川河口沖の海上からの可能性もあり



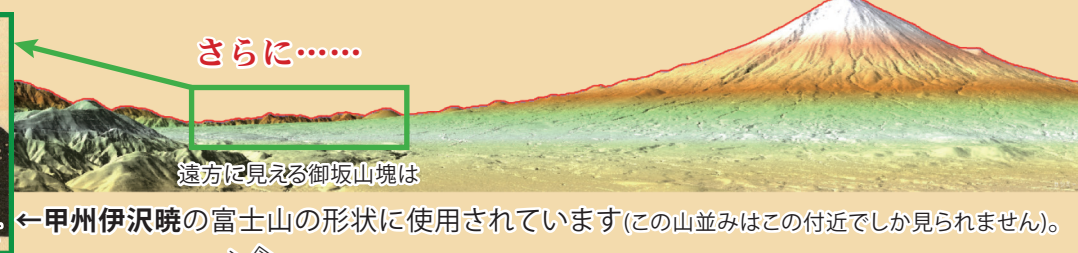
左山並みの重ね合わせ



山頂と山体の重ね合わせ



左側稜線の重ね合わせ



さらに……

遠方に見える御坂山塊は

←甲州伊沢暁の富士山の形状に使用されています(この山並みはこの付近でしか見られません)。



現在の石和から見える富士山
(大蔵経寺山登山道入口付近から)

画の近景は当時のこの付近から

山梨県石和(笛吹市)から見える富士山は実際には山頂部のみで北斎の版画のように見え、どこから描いたのか不明でしたが、ついに謎は解けました。



尾根反対側に見える富士川



山下白雨検証場所→

特定されたスケッチ場所は富士川水運停船場の稲子から芝川を結ぶ当時の山越え重要路でした。北斎は日蓮宗の路としてこの場所に立ち寄り富士山をスケッチしたのかもしれませんが。そして少なくとも二枚の版画を作成しました。



富士五湖ドットTV
fujigoko.TV
https://www.fujigoko.tv/
他の北斎視点詳細はこちらから。
記:久保寛

浮世絵師が描いた河口湖畔の風景

葛飾北斎の富嶽三十六景の謎を解く



葛飾北斎と歌川広重
どこから描いたの?



葛飾北斎:甲州三坂水面 富嶽三十六景(1831~1833)

歌川広重:甲斐御坂越 富士三十六景(1858)

(4)

定説ではいずれも旧御坂峠から描いたとされていますが、研究の結果、描いた場所の視点が特定されました。



新御坂トンネル
この上が旧御坂峠

・実際に行ってみるとわかりますが、旧御坂峠から河口湖は半分しか見えませんし、鵜ノ島は見えません。また、様々な場面で食い違いがありますので、従来の通説は再構築する必要があります。
・新御坂トンネルの上が江戸時代の旧御坂峠、天下茶屋のある旧御坂トンネル付近が新御坂峠。これは、自動車の登場で天下茶屋付近に道路が新しくできたため新御坂峠となり、その後現在の場所に新御坂トンネルができたため、呼び名が逆になっています。

(現在)

長崎トンネル奥山(旧大石~河口道)



勝山湖畔駐車場沖

富士御室浅間神社里宮

シッコ公園



江戸時代再現、北斎の視点

特定方法は裏面

水位は現在より2m高い設定で、視点は水面に近いです。



江戸時代再現、広重の視点

特定方法は裏面

水位は現在より2m高い設定です。

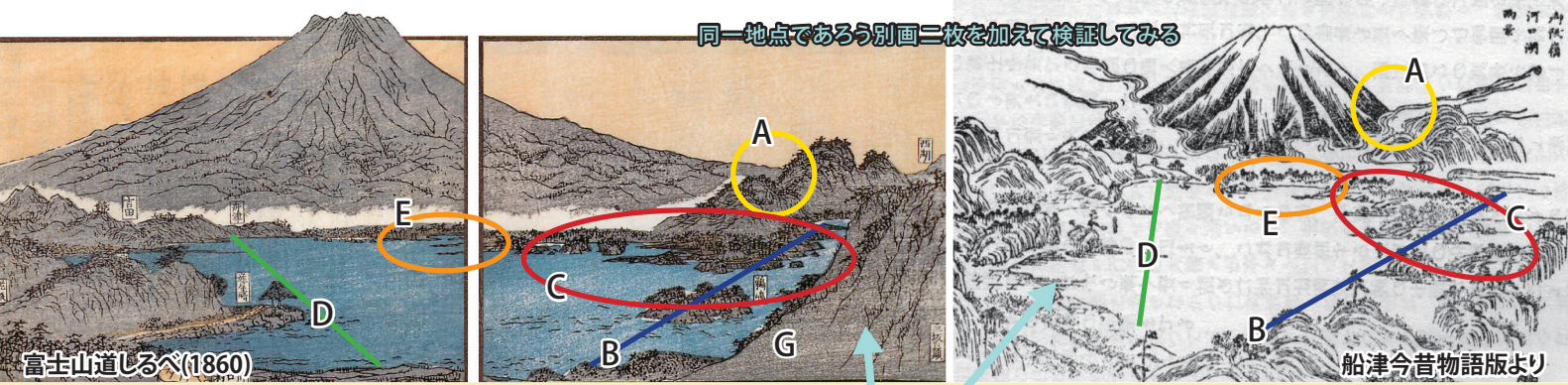


北斎は留守ヶ岩〜御室神社へ船で移動しながら描いているため、湖面に映る富士山は見る場所でズレていく。これが逆さ富士の謎解き。

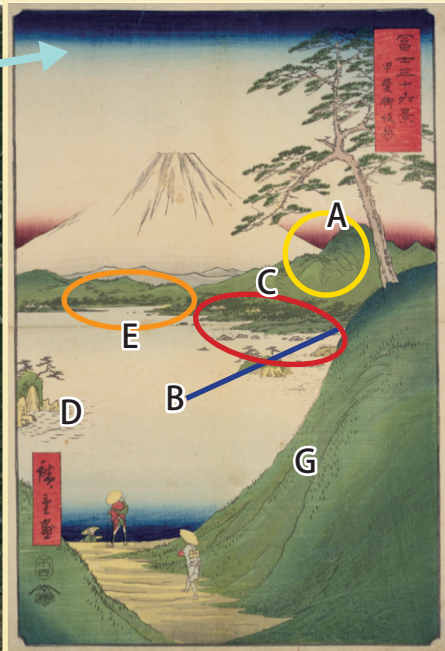
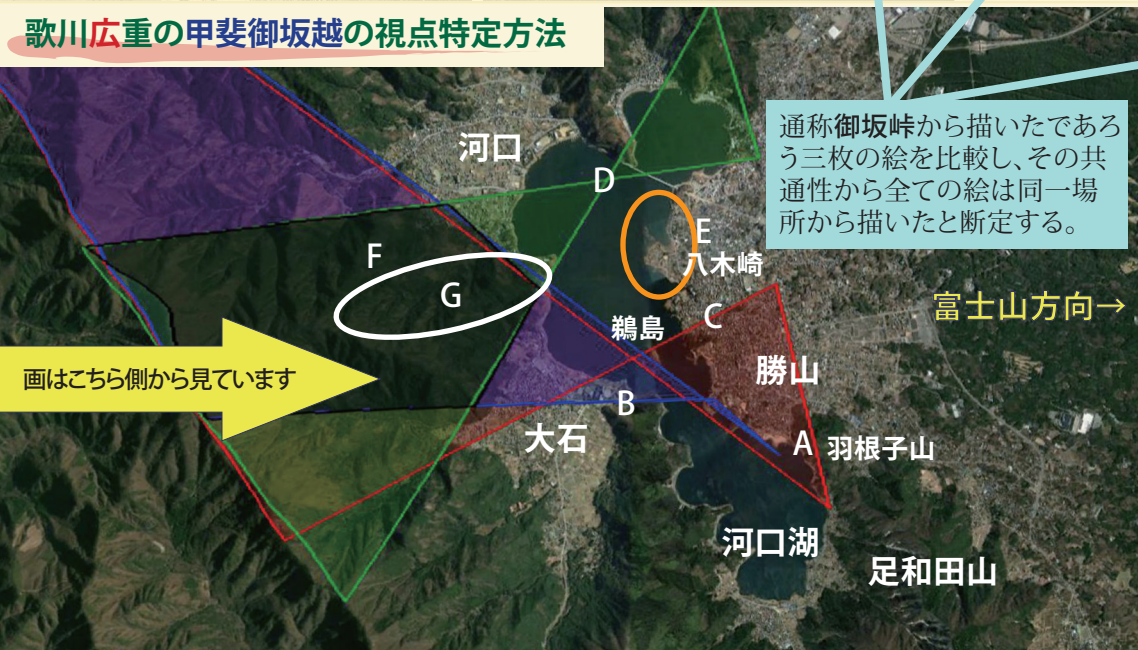


北斎の乗った船の航路 逆さ富士がズレている理由!

留守ヶ岩付近から



歌川広重の甲斐御坂越の視点特定方法

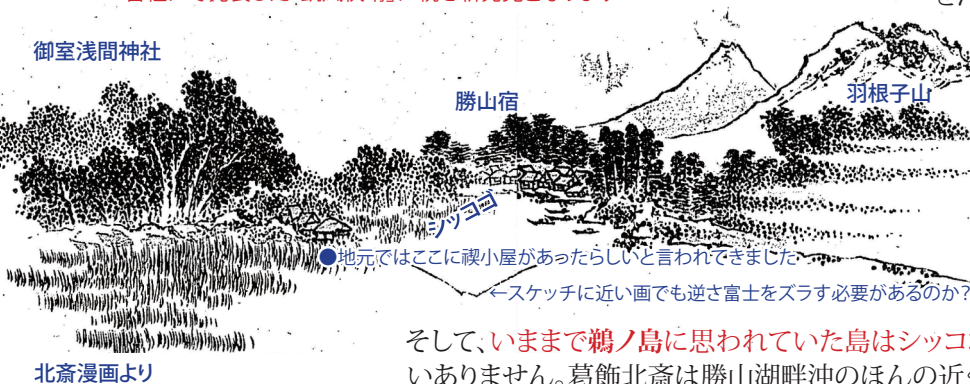


- A: 富士山の稜線が足和田山に掛かっていることから、標高の高い場所から見ているのでは無いと分かります。例えば、1,500mを超える御坂尾根から富士山の稜線を見ると足和田山より高いところを富士山の稜線が横切ることになります。つまり、足和田山と富士山の稜線の重なりを観察すると、どの高さから見た景色か判明します。しかし、Aのコブの様なものは足和田山の山頂に見えますが、遠く富士山の太室山の重なりの可能性もあります。よって、視点の高さは二つの候補が付きまといます。
- B: 青い線のように特徴が並んで見える視点位置のエリアを地図にプロットします。
- C: 赤い領域のように見える視点位置のエリアを地図にプロットします。
- D: 緑色の線のように特徴が並んで見える視点位置のエリアを地図にプロットします。
- E: オレンジの領域は現在の八木崎だと推定し、エリアを地図にプロットします。
- F: 白丸のエリアが上記A~Eの共通部分で、この範囲に甲斐御坂越の視点があると推定できます。
- G: 絵にある丘か崖のような景色を意識して今回新発見の視点を現地で確認しました。



葛飾北斎の甲州三坂水面の視点特定方法

NHK番組にて発表した「凱風快晴」に続き新発見となります



北斎の三坂水面は上記の御坂峠の考察に当てはまりません。どうやら、もっと里に近い場所で描いているようです。そこで、同じ北斎の別絵から考察します。この画は「北斎漫画」に収められており、三坂水面の元画になったと言われている絵です(左絵)。

いかがでしょうか？

地元なら勝山沖合から描いていると見えませんか？

実は船に乗りながら富士ビュー沖(留守ヶ岩)から御室神社に向かってスケッチをすると左絵のように描けます。逆さ富士は移動しながら描くとスケッチ場所の違いで北斎画のように上下でズレが生じます。

そして、いままで鶴ノ島に思われていた島はシッコゴ公園沖の溶岩の一部が湖から露出したものに間違いありません。葛飾北斎は勝山湖畔沖のほんの近くで甲州三坂水面を描いていたことになります。

二百年間、御坂峠だと思われてきた
浮世絵はもっと、ずっと、里に近い
ところで描かれていた。

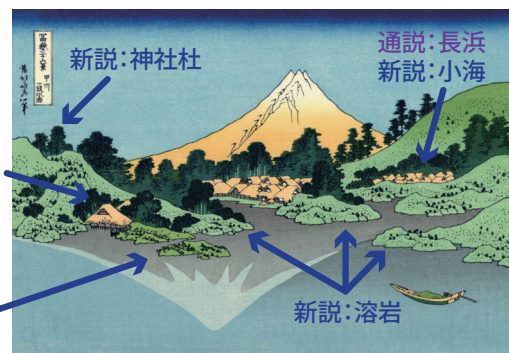


富士五湖ドットTV
fujigoko.TV
<https://www.fujigoko.tv/>
他の北斎視点詳細はこちらから。
記:久保寛



通説:妙法寺
新説:神社禊小屋

通説:鶴ノ島
新説:浮溶岩



葛飾北斎の富嶽三十六景の謎を解く

凱風快晴



まずは視点位置不明の
赤黒富士の視点位置を特定した。



凱風快晴視点スケッチ確定

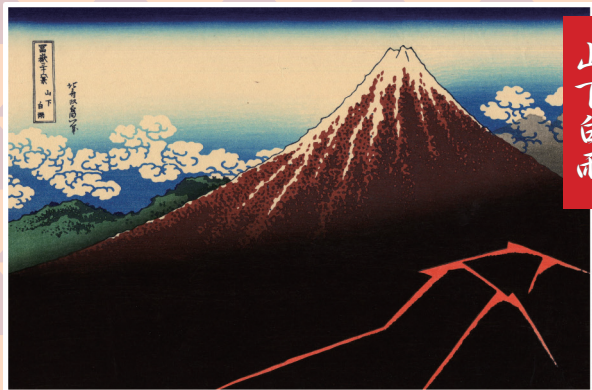
35°06'13.05N - 138°38'47.76E

カシミールを用いた「凱風快晴」視点位置のスケッチ図

上図スケッチ付近(通称田子の浦から)

当時の現地視点位置スケッチを推定することが
可能ならば富嶽三十六景の謎は解けるはずだ！

山下白雨



画の左稜線起伏から場所を確認し、シミュレーション風景に合わせてみる

H:1.7倍, A:-28°

長年謎だった山下白雨の左下に見えた山並みは
実際地形の竜ヶ岳と雨ヶ岳のモチーフだった。

山下白雨視点スケッチ確定

35°13'59.24N - 138°33'02.87E

カシミールを用いた「山下白雨」視点位置のスケッチ図

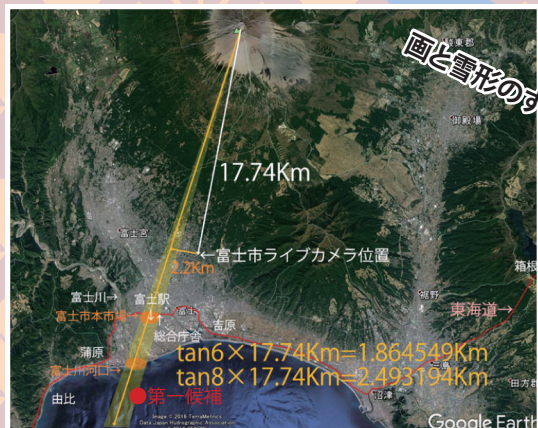
上図スケッチ付近(富士宮市鳥並)

※スケッチされた場所と時間を特定することは付随されている各説の解明に大いに役立つはずだ。

2015年4月22日11時08分



富士市に設置したライブカメラより雪形の一致を確認



画と雪形のずれから場所を特定

視点位置のシミュレーション風景に画を合わせてみる

長年謎だった凱風快晴は海上から見た富士山。



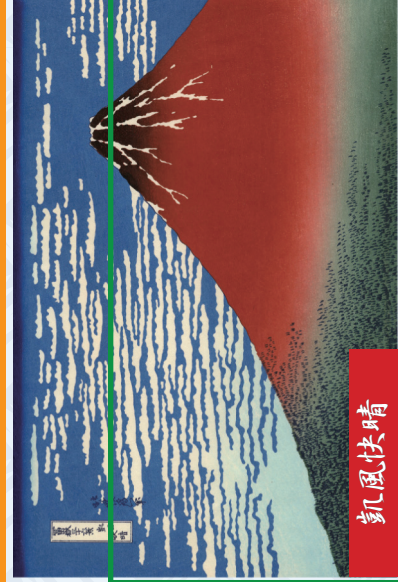
(5)

2019年4月28日13時02分

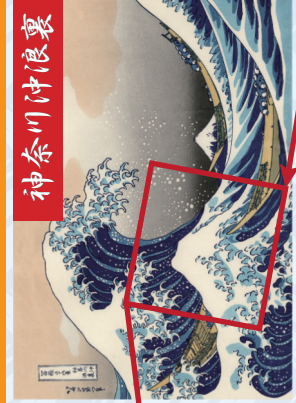


富士宮市にライブカメラを設置し雪形の出現を確認

ここで判明した視点位置スケッチは
他の画でも再利用されている。



凱風快晴



神奈川沖浪裏

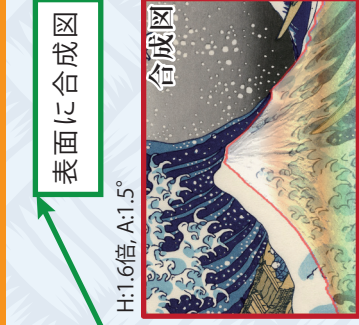


合成図

H:1.6倍, A:0.0°

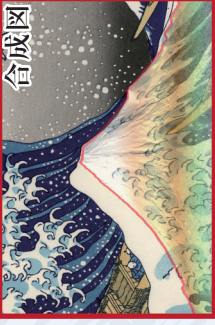


甲州石城罫



表面に合成図

H:1.6倍, A:1.5°



合成図

表面に合成図

凱風快晴視点スケッチ

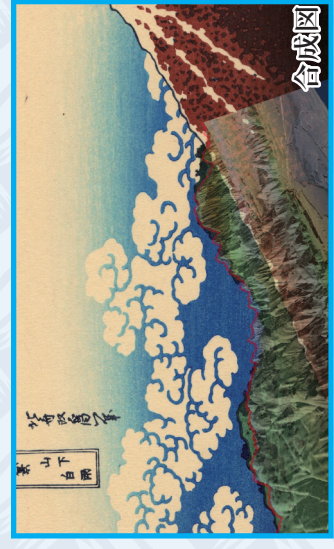


合成図

H:1倍, A:-16.4°

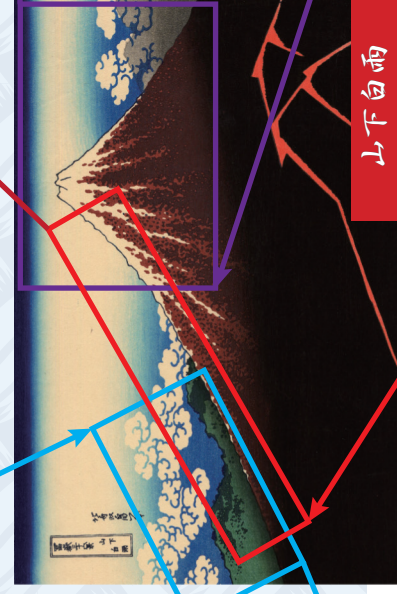


甲州伊沢晩

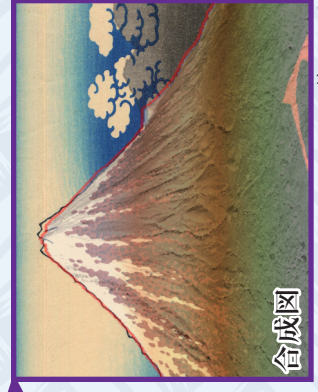


合成図

H:2.7倍, A:-21.7°



山下白雨



合成図

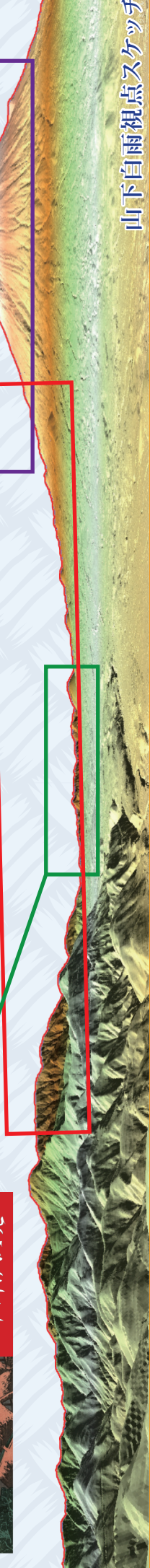
H:2.7倍, A:0.8°

富士五湖ドットTV

fujigoko TV

<https://www.fujigoko.tv/>

他の北斎視点詳細はこちらから。記:久保寛

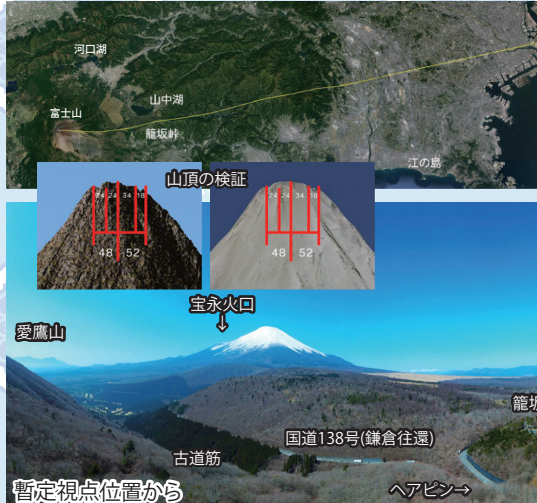


山下白雨視点スケッチ

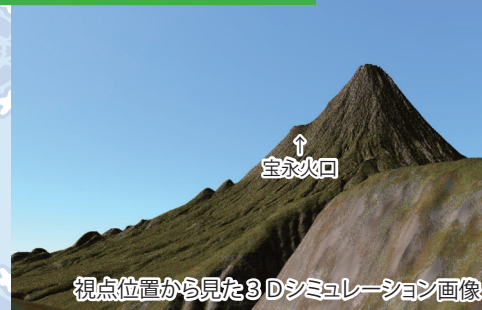
甲州三島越に謎はあるのか？



描いた場所の通説によると
現在の山中湖から御殿場市
に到る古道鎌倉往還途中の
籠坂峠付近だと言われている。



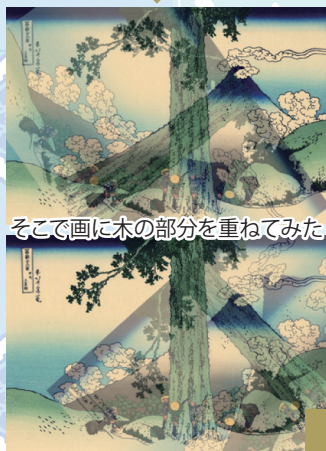
一般的な通説に従って北斎の画を構成してみる。



私的に通説を否定する証拠は見つからないが富士山稜線の凹凸のギザギザがどうしても気になる…

この凹凸に一致する場所を一年近く求めていたある日に閃いた。

この細かい凹凸は画に描かれた木の表面なのかもしれない？



さらに画の幹の部分抽出して検証することに

見事に画の幹と富士山稜線が一致した！



この新たな事実により、この画の見え方が大きく変わりませんか？ 特にキセルの人の心情が…
大きな木で遊ぶ旅人を見て「後ろに富士山があるのになあ」→「それだって富士山みたいなものだろ」→「全ては富士山なんだよ」。

ここに200年の各論に決着をつけ、
新たな展望に道を開いた！

漠然と言われていた「前景と後景に富士山がある」説を新ためて補強した。

葛飾北斎の富嶽三十六景の謎を解く
蔵出し画像集



古典和歌の引用(略図=やつし絵)
田子の浦にある由比の塩田風景を反転させると伊豆(沼津)久連～沼津間の風景と一致することに気付いた。正にそれは久連～江尻(清水)間にある航路として



犬目付近はかなり高所でなければ富士山は見えない。よってこの画は別場所の富士山との合成であろう。



昔の諏訪湖は今より広く、山際まで水があった。眼下に見える下諏訪の町は湖底にあたる。



富士五湖ドットTV
fujigoko.TV
<https://www.fujigoko.tv/>
他の北斎視点詳細はこちらから。
記:久保寛

光る富士三十六景立体模型 (6)

葛飾北斎の Katsushika Hokusai's Illuminated 3D Models of Thirty-six Views of Mt. Fuji.

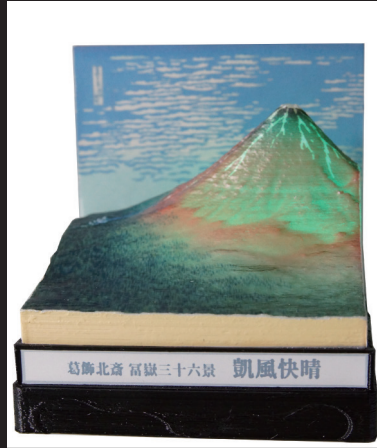
7色のLEDが時間と共に変化していきます

凱風快晴

富士山が七色に変化



Fine Wind, Clear Morning.

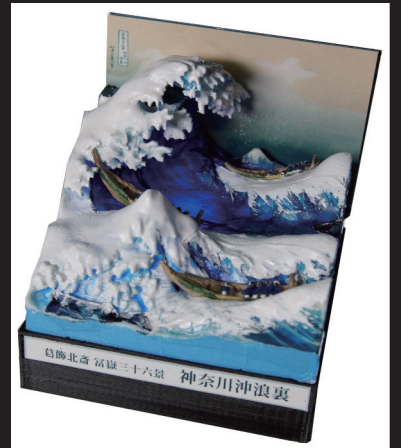
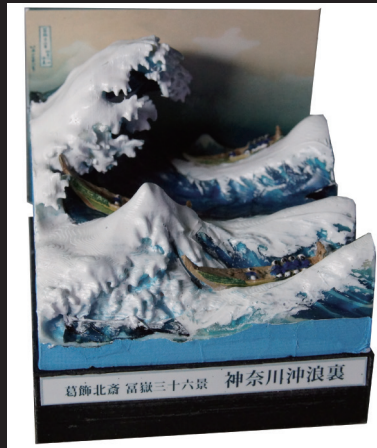


神奈川冲浪裏

波が七色に点滅



The Great Wave off Kanagawa.



山下白雨

雷が七色に点滅



Thunderstorm Beneath the Summit.

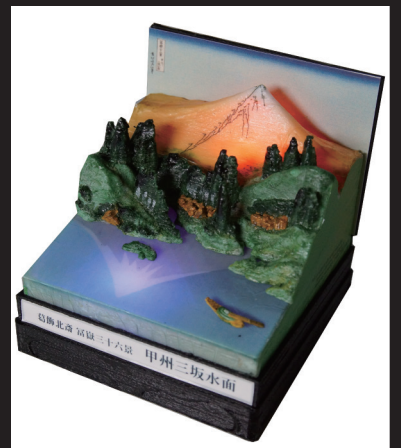


甲州三坂水面

富士山は点燈、湖は七色に変化



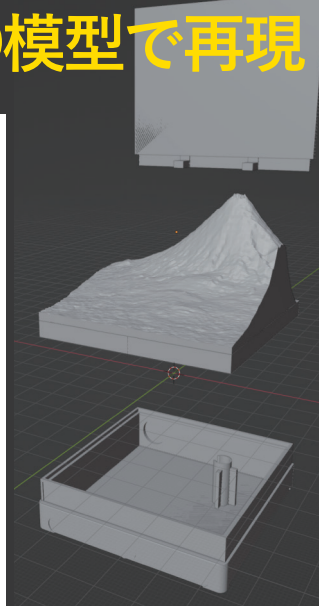
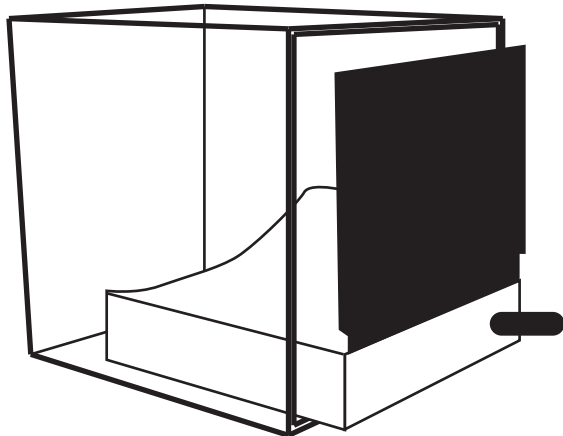
Fuji Reflected in Lake Kawaguchi.



葛飾北斎はどこからどのように富士山を描いたのか？
<https://www.fujigoko.tv/mtfujii/vol5/hokusai>

富士山視点を3D模型で再現

透明ケースのふたを外し図のように配置するとケース内で模型を飾ることができます。



立体模型に関して詳しくは <https://www.fujigoko.tv/mtfujii/vol5/3Dmodel/> から→



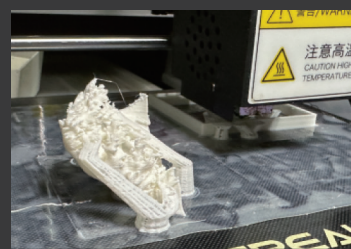
富士山ファンの集まる場所
 毎日の富士山はここでチェック



富士山ライブカメラ保有 日本一！
 富士山ライブカメラ画質 <https://www.fujigoko.tv/>



山中湖……4箇所
 忍野村……3箇所
 富士吉田市……2箇所
 富士山五合目1箇所
 河口湖……11箇所
 西湖……1箇所
 精進湖……1箇所
 本栖湖……1箇所
 富士宮市……3箇所
 富士市……1箇所
 裾野市……2箇所
 須走……1箇所



3Dプリンターで製作

2023 年の月間アクセス数 250 万 PV ～

Fujigoko. TV運営者 久保覚の著書・番組出演

- ・1998年 日本経済新聞（全国版）
- ・2000年 6月 インターネット小説全国出版
工学社 ISBN4-87593-235-9 C0036 ¥1900E
- ・2002年 ～ コンピュータ技術誌寄稿
I/O別冊、Computer Fan、など
- ・2004年 ～ 道祖神、神社仏閣の研究
- ・2006年 ～ 富士山パワースポット
富士山パワースポットブームから全国へ
もしもツアーズ（フジTV系列）
- ・2009年 8月 富士山AtoZ（BS-NHK）
- ・2010年 2月 明日の山梨（NHK山梨）
- ・2010年 4月 ワンダー×ワンダー（NHK総合）
- ・2011年 8月 歴史秘話ヒストリア（NHK総合）
- ・2017年 4月 葛飾北斎の研究
中学校など各場所にて講演会
- ・2021年 4月 歴史探偵 北斎の秘密（NHK総合）
- ・2023年 1月 葛飾北斎の山下白雨（元日特番NHK総合）



USB電源対応



付属品
 100V→USBアダプタ
 USB電源ケーブル
 透明立方体ケース

大きさ
 模型のみの大きさ
 75mm×75mm×80mm
 ショーケースを含む場合
 90mm×90mm×90mm



富士五湖ドットTV

〒403-0310

山梨県南都留郡富士河口湖町勝山1320-5

代表：久保覚 0555-83-2796

E-mail：kubo@asubu.com